

こうきた 5月号

杉並区立高円寺北子供園



元気な子どもを育むために

園長 須田なぎさ

進級、入園から3週間が過ぎようとしています。4歳児たんぽぽ組は先生が用意した楽しそうな遊具や絵本で楽しそうに遊んでいます。先生は楽しいことをしてくれたり、困ったときに助けてくれたりする人と感じ、安心して過ごせるようになってきています。5歳児にじ組になると、使えるようになる道具や遊具があります。砂場の大きなシャベルもその一つです。大きな山やトンネルを作り嬉しそうに遊んでいます。

さて、高円寺北子供園の子どもたちは、広い校庭や体育館を使って、楽しんで体を動かして遊ぶ姿がみられます。しかし、現代の子どもの身体活動や運動について、次の4つが問題点としてあげられています。①活発に体を動かす遊びが減っている。②体の操作が未熟な子どもが増えている。③自発的な運動機会が減っている。④体を動かす機会が少なくなっている。コロナ禍になり、この問題点はさらに顕著になってきています。

今年度、本園は、「元気な子ども」の育成を重点に教育活動をすすめています。やりたいことを見つけてすすんで取り組む遊びを中心とした生活を通して、心身の調和のとれた発達を促し、生きる力の基礎を培っていくことを目指しています。遊びを中心とする身体活動を十分に行うことは、多様な動きを身に付けるだけでなく、生涯にわたって健康を維持したり、何事にも積極的に取り組む意欲を育んだりするなど、豊かな人生を送るための基礎作りとなります。

本園では、「すぎなみ体づくりキャラバン」の井村浩明氏（井村隊長と呼んでいます）を講師にお迎えし、「元気タイム」として運動遊びを取り入れています。井村隊長は、子どもたちが楽しく体を動かせるように、分かりやすくお話をしてくださり、すすんで取り組もうとする気力を引き出してくれています。そして、私たち保育者も、指導のポイントや大切にしたいことなどを教えていただいています。

4月の「元気タイム」で、にじ組はマットを使った動きで、後ろ回りに挑戦しました。井村隊長の見本を見て、意欲的に取り組んでいました。しかし、見たことを実践するのは難しく、手の付き方に頭を悩ませ、不思議なカッコをしている子がいました。その姿を見て井村隊長は「こうやって頭も使うことが大切」とおっしゃっていました。

体を動かして行う活動では、体力・運動能力の向上に加え、意欲的な態度や有能感、感情をコントロールし友達と関わりながら社会性を育みます。さらに、脳の発達を支え、創造力が豊かになるともいわれています。子どもたちが、毎日心も体も脳の機能もたくさん動かし、必要な経験を積み重ねていけるよう、活動内容を工夫し充実させて参ります。

ご家庭では、子どもたちが子供園で元気に過ごせるように、よく食べて、よく寝るという生活を整えていただきますようお願いいたします。高円寺北子供園の子どもたちが「元気な子ども」となるように、子供園とご家庭とで、協力してまいりましょう。

4月25日から、3回目の緊急事態宣言が発令され、今年のゴールデンウィークも昨年に引き続き自粛となってしまいました。おうちでどのように過ごそうかと、悩んでいらっしゃるご家庭もあるかと思えます。

国公幼 遊びの紹介で検索すると、楽しい遊びが紹介されています。楽しいおうち時間の参考にしてください。

《5月の保育》



★4歳児 たんぽぽ組

入園して一か月が経ち、子どもたちは徐々に園での生活に慣れてきました。ままごとや砂遊びなど、自分の好きなことを見つけて遊んだり、担任と一緒に歌や簡単な体操を楽しんだりしています。また、朝の支度や弁当の準備など、身の回りのことも、自分でやってみようとしています。

今月は、ハサミやセロハンテープなど、いろいろな道具を使う活動を取り入れ、簡単な製作遊びを楽しめるようにしていきます。また、戸外で伸び伸びと体を動かす心地よさを感じたり、砂や水の感触を味わったりできるようにしていきます。

長い連休明けは疲れも出てくる頃です。毎日元気に登園できるよう、ご家庭でもお子さんの体調管理をよろしくお願いします。

★5歳児 にじ組

気候も良く、戸外で遊ぶには気持ちの良い季節となりました。子どもたちは砂場で大きな山や川を作ることや、水を使って遊ぶことを楽しんでいます。「大きな山を作りたい！」と数人の幼児が夢中になって取り組んでいるうちに、「友達の山とつながって、もっと大きな山ができた！」と友達と一緒に遊ぶ楽しさも感じるようになってきました。今月も砂遊びや自然物を使った色水作りをするなど、自分のやりたいことを見つけてじっくり遊んでいきます。また、遊びの中で友達に自分の思いを話したり、友達の考えを聞こうとしたりして、友達と一緒に遊びを進めていく楽しさも味わえるようにしていきます。

巧技台や大型積み木など、年長ならではの道具を使って友達と遊びの場を作ることも楽しめるようにしていきます。安全な遊び方や片付け方が身につくよう繰り返し指導していきます。

5月になると、子どもたちは生活に慣れて緊張も解けてきます。開放感や疲れなどから、思わぬケガや事故が増える季節となります。

ご家庭におかれましても、疲れを残さないようにしっかりと睡眠をとり、朝ごはんもきちんと食べて、毎日元気に登園できるようご協力をよろしくお願いいたします。

